

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 二位 孝夫 <small>(課長補佐兼農営ほ場整備係長)</small> 鈴木 敏亮	内線	4003 (4014)
--------------	---------------------	---------------------	---	----	--------------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	7.8 億円
		経営体育成基盤整備事業	上福田開拓地区	内用地補償費	0.07 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
兵庫県加東市稲尾他			H19	H19	H23
事業目的			事業内容		
区画形質の改善や水路、農道等の整備を行い、意欲と能力のある農業の担い手を中心となって優良農地を将来にわたり維持・保全することで食料の安定供給力を向上させ、農業の多面的機能を発揮することを目的とする。			・ 区画整理 43.4ha ・ 負担率 [国50% 県27.5% 市10% 地元12.5%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	本地区は、水稲作を中心として小麦、飼料作物等を生産しているが、農地は小区画(10a)で、農道の幅員も狭いため、大型機械を用いて効率的に営農することが出来ない。また水路も整備後40年を経過しコンクリートの劣化や土水路のため漏水が激しく、用水の確保や施設管理に支障をきたしている。 地域農業の持続的発展のため、集落営農組合や認定農業者による大規模な営農を目指しており、早急に大区画ほ場(50a)に整備を行い、機械の大型化及び水管理の合理化を図ることにより、農地の利用集積や小麦や飼料作物の生産拡大を支援していく必要がある。				
(2)有効性・効率性	費用便益比B/C=1.33 (便益額B=1,088百万円、総費用821百万円) であり、事業としての効果が十分に期待できる。 担い手 (集落営農組合と認定農業者) への農地集積 現状 (H17) 0.3ha (0.7%) 目標 (H28) 17.2ha (39.6%)				
(3)環境適合性	景観作物 (イワダレソウ) を活用して、整備後の法面を緑化することによって景観に配慮する。 資源循環のため地区内で発生する既存コンクリート水路を砕石化し、農道の舗装材料として、積極的に活用を図る。				
(4)優先性	4集落がほ場整備と共に集落営農組合を立ち上げ、将来にわたって地元の農業が維持発展していくことを目指しているため、生産基盤整備を通じて、農地の利用集積や生産規模拡大を支援していくことが求められている。				